

■主催：私立大学図書館協会阪神地区協議会 ■会場：梅花女子大学 山草館(F棟)601教室(大阪府茨木市)  
■テーマ：今、あらためて大学図書館職員の働き甲斐を問う ■時間：13:10-14:40(90分 質疑応答)

# 大学図書館職員の栄光と苦悩

## ー内面を支える秘かな愉しみー

仁上幸治 (図書館サービス計画研究所 代表)



### <目次>

#### ・講演概要

- 【1】はじめに
- 【2】利用者減少という問題
- 【3】問題の設定
- 【4】発想の転換
- 【5】有望な4つの取り組み領域
- 【6】本丸に迫るーリザーブ図書制度の本格運用に向けてー
- 【7】職業生活の分岐点ー働き甲斐を求めてー
- 【8】おわりにー研修を変えるにはー

#### ●別紙資料

- 配付資料2: 高校の情報リテラシー教育を変える
- 配付資料3: シラバス原稿依頼状例
- 配付資料4: 帳票例 1-ILL 申込書
- 配付資料5: 帳票例 2-DB 講習会申込書
- 配付資料6: 国際教育センターニュースレター

#### ■付録1・参考文献

#### ■付録2・参考サイト

#### ■付録3・講師紹介

- \* 質疑応答
- \* 仁上新刊のご案内
- \* 参加者アンケート
- \* おみやげ (ALA しおり)

## ■概要

図書館をめぐる社会環境は厳しい。図書館員の非専任化と外部委託化の拡大で専門職としてのプライドは崩壊寸前だ。日頃の研修や自己研鑽の努力に正当な社会的評価を得るには味方づくりの戦略が必要である。大学図書館職員の働き甲斐を取り戻すヒントを情報リテラシー教育への直接貢献策の中に探る。

大学図書館での実務経験と司書課程教員としての次世代図書館員の教育経験をベースに、現職者が抱える悩みに寄り添いながら、逆風の中でも楽しみを持ち続けてメゲずに前進していくための心構えを伝授し、苦境を打開する取り組みプランを提示してみる。

もともとどうしても図書館で働きたかったあなた、あるいは、たまたま図書館で働くことになったあなた、は大学内で何をしていたのかというホンネのレベルでの反省から出発するべきである。

その答えを探すひとつの有力な方法がブランディングである。図書館のミッションやポリシー、サービスのコンセプトなどを見直し、それを目に見える形で内外に提示するためのデザインングにつなげていくには、旧来の図書館界の伝統的な思考形態をいちど清算し、企画立案の枠組み自体を再構築する必要がある。

現状を見れば、実際、大学生の図書館顕在利用者層は20%程度しかない。PULL型の「客寄せ・客引き」方策による効果だけで顕在利用者層の20%を90%以上に引き上げられると期待するのは幻想である。せいぜい30%に引き上げる程度と見込むのが現実的であろう。潜在利用者の発掘という目的に対して個別誘引 PULL 型の限界を知っておくべきである。

ブランディングの一方には、魅力的なコンテンツやイベントを多種多様に用意して、無関心層を惹きつける戦略がある。経営資源の逼迫状況でも、個別誘引 PULL 型の仕掛けは可能なかぎり徹底して実施するべきである。

そこで、ブランディングのもう一方には、学生たちが嫌でも図書館利用をせざるをえない状況を作っていく全員一網打尽 PUSH 型へ踏み込む戦略が必要不可欠となる。図書館のミッションの中核である教育支援サービスのうち、図書館利用率100%を実現する方法手段のキラーコンテンツとして、学生授業直結型のリザーブ図書制度を取り上げる。

従来の図書館学では「指定図書制度」など本質を誤解させる曖昧な用語が主流であり、実際の現場ではそのサービスを活用しているのはごく一部の教員に限定され、図書館

側も予算やスペースの不足を理由に形式的な導入に留まっている。結果として学生の図書館利用率の向上に効果を上げていない。

米国の大学教育で言うところの「リザーブ図書制度」の本質は「次回授業までに受講生全員が指定文献を確実に読了して授業に臨めることを保証する制度」という点にある。まずは流布している誤解を解き、図書館の教育支援サービスの基本を見直すことから始めるべきである。大学という親組織の中にある「場」としての図書館を総合的に見直し、様々なネックを超えるための具体的・現実的・実行可能なリザーブ図書制度実効化計画案作りに挑戦することを強くお勧めする。

大学図書館を情報リテラシー教育に直接貢献する重要組織として高いレベルでブランディングするには、大学図書館のキーコンセプトとして、教育支援面では「授業をパーフェクトサポート!!」、研究支援面では「文献コピー取り寄せコンビニ!!」というコンセプトを提案する。

そこで、最後の壁は、図書館の、そして大学の組織体質である。各種の研修を受講し、自己研鑽に励んで、サービス改善の企画を立てて提案しても、組織が受け入れられなければ、改善は期待できない。保守的組織の中での処世術・遊泳術のレベルでの知恵は、ほとんど役に立たない。多くの前向き図書館員が働き甲斐を喪失していくのも当然である。

結局、「働き甲斐を問う」という問いは、図書館員自身の内面に向かわざるをえない。組織体質の壁が強固で打開の見込みがない場合、欲求不満を抱えたまま組織の「内」で定年を待つか、組織の「外」で私的活動の道を探るか、職業生活の分岐点が見えてくる。

最後に、成果を出す研修をめざして、研修のあり方自体を変える必要性を訴える。配付資料、ワークシート、スライド、アンケート結果等の研修資料を公開し、フォローアッププログラムを用意し(取り組み計画書、成果と課題)、1年後に成果発表会を実施することをお勧めする。

さらに、成果発表内容を整理して使えるツール化し、共有する仕組みを活用する。公的な情報交換機会とは別に、非公式・個人・自由参加の地域メーリングリストを作り、情報交換や相互扶助に活用し、交流会・懇親会を開く。その上に自発的な勉強会・研究会(同業種・異業種)の活発化が期待できる。半年後、1年後の成果を楽しみにしたい。

## ■1. 講演内容

### 【1】はじめに

自己紹介  
固定観念

### 【2】利用者減少という問題

(1)大学図書館の利用者減少対策

#### 立地の問題

◎東北学院大学図書館

・メインキャンパスから一般道路をはさんで隣に立地。生協ビルから地下道を抜けて入館可能。  
・1階はカウンターと参考図書。学生の反応「これしか本ないのか〜」と帰ってしまう。

cf.早稲田大学図書館新館(1991)

・図書館体操が話題に！(NHK「投稿 Do 画！」取材)

#### 客寄せ

◎筑波大学付属図書館

・スターバックスコーヒーを誘致  
・利用者増に結びついたか？

学外コラボによる読書推進

◎帝京大学図書館(MELIC)

・スターバックスコーヒー誘致挫折  
・共読ライブラリー(編集工学研究所とコラボ)  
・大型予算

### 【3】問題の設定

・利用者減少はなぜいけないのか？  
・図書館予算の減少はなぜいけないのか？  
・図書館組織の統廃合はなぜいけないのか？  
・図書館員の減員・外部委託はなぜいけないのか？  
・情報サービス職は図書館組織内にはないといけないのか？  
・図書館員という職種の存続を目的にしてよいか？  
・あなたは大学内で何をしたいのか、したかったのか？

#### 最近の話題から

ワーキングプア

非正規職員

外部委託

九州大学  
早稲田大学  
千葉大学

#### コトバ

情報の利活用  
学修支援  
アクティブラーニング  
ラーニングコモンズ

#### 広報

PR  
パブリックリレーションズ  
マーケティング

#### アイデンティティ

UI:ユニバーシティアイデンティティ  
LI:ライブラリーアイデンティティ

#### ブランディング

10年も同じコト言ってる  
ご指摘もつとも  
正しくは30年ですけど何か。(〃;

#### 【4】発想の転換

##### 1) 固定観念を捨てる

発想の転換  
外の世界に目を開く  
異業種の人材から発想や仕事術を学ぶ  
弱点を逆手に取る  
自虐ネタ  
スベリ芸

#### 事例

●誰も借りてくれない本 100冊 ICU 図書館で紹介:朝日新聞デジタル

[www.asahi.com/articles/ASG6K5T12G6KUTIL030.html](http://www.asahi.com/articles/ASG6K5T12G6KUTIL030.html)

##### 2) ダメモト

どうせ無理と言わない  
とりあえず交渉してみる

#### 事例

●鎌倉幸子(シャンティボランティア会)  
・MULU(みちのくライブラリアン連合)での出会い  
2012.01.28-MULU 茶話会  
・日産自動車で「車ください!」  
・新宿区北図書館での偶然の再会  
2013-07-14 図書館×広報×マーケティング  
<http://ameblo.jp/1192-sachiko/entry-11572195358.html>  
2013.8.8 ランチ@トルコ料理 ヒサル(新宿区百人町)  
・鎌倉幸子『走れ! 移動図書館』筑摩書房, 2014.1.  
<http://www.chikumashobo.co.jp/product/9784480689108/>  
・『走れ! 移動図書館』発売日イベント~紀伊国屋書店を封鎖せよ』2014年1月7日(火)16:30~21:30  
喫茶室ルノアール ニュー新宿3丁目店  
<https://www.facebook.com/events/555305001227421/>

##### 3) 何でもあり

話題を作る  
日常をイベント化する

●図書館を愛してやまない人の飲み会  
第3回「ここが変だよ図書館用語」(ソフトドリンクあり)  
2013.09.27@シャンティ国際ボランティア会)

●図書館愛人協会(略称)

図書館を愛してやまない人協会  
図書館を愛してやまない関根タ希さんが伊勢に行く瞬間  
を見送る会

2014年7月1日 19:00 - 21:50  
タイ国屋台食堂 ソイナナ(西新宿)

#### 4) 街へ出る

市民講座の講師を務める  
図書館活用法、データベース活用法など  
事例  
・梅澤貴典(中央大学学事部学事課副課長)  
「誰でもできる! 知的生産のための図書館&公的データベース活用法」2014.7.26 墨田区 ひきふね図書館  
<http://www.ustream.tv/channel/sumitoshopartners>  
<http://hikifunetoshokanpartners.jimdo.com/講座ライブ中継/>

#### 成果のリサイクル

市民からの評価が向上  
評価の声を大学内へ逆輸入  
大学図書館員の学内的評価を向上

#### 5) 「できない」と言わない

変化を嫌う図書館界の悪しき伝統  
マイナス面だけをあげつらう消極的心性  
事例  
●新宿区立中央図書館  
廃校になった中学校校舎へ移転  
新館建設計画はビミョー?  
Never Say Can't!  
新宿区中央図書館の玄関にある標語)  
<https://www.facebook.com/koji.nikami.10/posts/522106897894406>  
旧中学校の玄関のまま

#### 6) 「あるもの」活用

「ないからできない」という言訳を封印

#### 事例

##### 里山資本主義

・『里山資本主義』藻谷 浩介/NHK広島取材班 角川書店, 2013.7.  
<http://www.kinokuniya.co.jp/f/dsg-01-9784041105122>  
里山のチカラ - NHK オンライン  
<http://www.nhk.or.jp/eco-channel/jp/satoyama/interview/motani01.html>

#### 【5】有望な4つの取り組み領域

##### 1) 高校教育以前に遡って攻める

付属高校  
地域の高校  
小中学校

##### 2) 研究室へ攻め込む

1. 帳票を再設計する  
講習会メニューを埋め込む  
帳票例 1: ILL  
帳票例 2: DB 講習会

##### 2. 研究室単位のインストラクター制度

研究室単位の固有の専門的文化的の伝承装置  
その設置と運営を図書館が支援する

・仁上幸治「文献調査法の専門分野別最先端情報の共有  
へ向けてー研究室内知識伝承者を養成するインストラクター  
講習会の試みー」『ふみくら』77, 2008.12, pp.4-5.  
[http://www.wul.waseda.ac.jp/Libraries/fumi/f\\_index08.html](http://www.wul.waseda.ac.jp/Libraries/fumi/f_index08.html)

##### 3) ライティング支援に踏み込む

レポート・論文作成は一連の作業



示す

(2)提案場面の設定  
企画を提案する場を設定する。  
会議名:  
出席者:  
配付資料等

(3)企画内容  
キャンペーンについて以下を具体的な企画書にまとめる  
今回の研修では、投影発表用のスライドを作成する  
提示項目例  
キャッチコピー(メイン・サブ)  
説明文  
推進体制  
告知・宣伝方法  
投入コスト(予算・人員・時間など)  
期待される教育的効果(短期・長期)  
期待される図書館と図書館員の地位向上効果

(4)発表  
設定した会議の場で実際に提案する様子を模擬プレゼンテーションとして発表する

まとめ

- 1)研修を変える
  - ・研修資料を公開する(配付資料、ワークシート、スライド、アンケート結果等)
  - ・フォローアッププログラムを用意する(取り組み計画書、成果と課題)
  - ・成果発表会を実施する
  - ・成果発表内容を整理して使えるツールにする
  - ・ツールを共有する(ホームページ、メーリングリスト等)
- 2)情報交換機会を作る
  - ・地域メーリングリストを作る(非公式、個人、自由)
  - ・交流会・懇親会を開く(同業種・異業種)
  - ・勉強会・研究会を開く

継続は力

半年後、1年後の成果を楽しみに (^v

●別紙資料

配付資料2:高校の情報リテラシー教育を変える

参考1) 2013 年度春学期「学校経営と学校図書館」(仁上幸治) 授業の計画一覧表

参考2) 事例:早稲田大学高等学院図書室  
仁上幸治「わが校の図書館あんなに:早稲田大学高等学院」『学校図書館』no.489,1991.7, pp.70-71.巻頭口絵写真 2p.

参考3) 早稲田大学高等学院図書室利用案内 1989

参考4) 早稲田大学高等学院図書室(附属高校)の図書館報 1991 年版

参考5) 早稲田大学高等学院図書室 投書箱実例

参考6) 葉の裏面見本: 早稲田大学高等学院図書室「返却期限日 葉」1989-91?

参考7) 札幌南高校の事例: 卒業生とのコラボ

配付資料3:シラバス原稿依頼状例

配付資料4:帳票例 1-ILL 申込書

配付資料5:帳票例 2-DB 講習会申込書

配付資料6:国際教育センターニューズレター

■1. 参考文献

■2. 参考サイト

■3. 講師紹介

\* 質疑応答

\* 仁上新刊のご案内

\* 参加者アンケート

\* おみやげ(ALA しおり)

●販売図書

1)仁上幸治著『図書館員のための PR 実践講座一味方づく り戦略入門』樹村房(2014年10月30日刊行)

\*3 部作シリーズ順次刊行予定 [出版社新刊情報]

[http://www.jusonbo.co.jp/kikan\\_shosai/01/kikan\\_shosai\\_01\\_49.html](http://www.jusonbo.co.jp/kikan_shosai/01/kikan_shosai_01_49.html)

■ 1. 参考文献

\*\*\*\*\*

●図書館利用教育ガイドライン

- ・日本図書館協会利用教育委員会編『図書館利用支援ガイドライン—図書館における情報リテラシー支援サービスのために(合冊版)』日本図書館協会, 2001.8, 81p: ¥1500
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)』日本図書館協会, 2003.3.
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『情報リテラシー教育の実践—すべての図書館で利用教育を—』(JLA 図書館実践シリーズ; 14) 日本図書館協会, 2010.3

●オリエンテーション・講習会

- ・仁上幸治「大学図書館員のためのオリエンテーション技法:印象づけを重視した構成・演出の改善の試み」『医学図書館』52(1), 2005.3, pp.15-24.
- ・仁上幸治「オリエンはエンタメだ! —素敵な印象を伝えるプレゼンテーションを—」『学図研ニュース』No.229,2005.3.1(特集オリエンテーション)pp.2-5.
- ・仁上幸治「文献調査法の専門分野別最先端情報の共有へ向けて—研究室内知識伝承者を養成するインストラクター講習会の試み—」『ふみくら』77, 2008.12, pp.4-5. [全文]
- ・仁上幸治「情報検索指導における良い例題・悪い例題(初級編)—素材を集め、問題を作り、要点を説明する方法—」, 日本図書館協会図書館利用教育委員会編『情報リテラシー教育の実践—すべての図書館で利用教育を—』

(JLA 図書館実践シリーズ; 14) 日本図書館協会, 2010.3, pp.88-108.

●広報・PR

- ・私立大学図書館協会東地区部会研究部図書館サービス研究分科会広報グループ『図書館広報を考えなおす』, 1982.12.
- ・高橋昇・仲谷由香理・仁上幸治「新図書館とサインシステム計画」『早稲田大学図書館紀要』no.27,1987.3,pp.58-90. [全文]
- ・私立大学図書館協会東地区部会研究部企画広報研究分科会『図書館広報実践ハンドブッカー広報戦略の全面展開をめざして—』日本図書館協会発売,2002.9 303p, ¥2381
- ・仁上幸治「ライブラリアンのための広報戦略マニュアル—専門性を訴求する5つのポイント—」『専門図書館』No.225 2007.9, pp.88-93.
- ・仁上幸治「図書館広報はなぜ読みにくいのか(中級編)—レイアウト改善の5つのポイント—」『館灯』47,2009.3.31, pp.124-129.
- ・仁上幸治「図書館を見違えるほど魅力的に! —少人数職場ならではの即効変身術—」『短期大学図書館研究』No.29(2009), pp.49-53.
- ・仁上幸治「何を誰にどう訴えればよいのか」『専門図書館』2009(5), (239), 2010.1, p.2-7.(特集図書館アピール)
- ・仁上幸治「これからの「PR」の話をしよう—いまを生き延びるための図書館経営学—」『病院図書館』30(3), 2011.5,

pp.124-132. (特集「図書館のPR」)

●**広告**

- ・谷山雅計『広告コピーってこう書くんだ!読本』宣伝会議,2007.
- ・宣伝会議コピーライター養成講座編『最新約コピーバイブル』宣伝会議,2007.
- ・デンツウデザインタンク編著 後藤徹 監修『新アートディレクター入門』電通,2007.3
- ・姫路市立美術館,凸版印刷株式会社印刷博物館 編『大正レトロ・昭和モダン広告ポスターの世界:印刷技術と広告表現の精華』国書刊行会,2007.7
- ・眞木準 著『胸からジャック。:心にささる一行メッセージのつくりかた。』大和書房,2007.7
- ・オプスキューアインク 著『レイアウトデザインのルール:目を引くページにはワケがある。』ワークスコーポレーション,2008.2
- ・堀内敬一 著『売れる!チラシのデザインルール』グラフィック社,2006.6

●**CIとブランディング**

- ・ケビン・レーン・ケラー(恩蔵直人・亀井昭宏訳). 戦略的ブランド・マネジメント. 第3版. 東急エージェンシー出版部,2010.
- ・菅谷明子著『未来をつくる図書館:ニューヨークからの報告』岩波書店,2003(岩波新書 新赤版 837). 735円
- ・中西元男『コーポレート・アイデンティティ戦略ーデザインが企業経営を変える』誠文堂新光社,2010.4.
- ・仁上幸治『図書館の魅力は細部に宿るー「ちょっとした工夫」を超えるブランド戦略ー』『ほすびたる らいぶらりあん』36(1), 2011.3, pp.8-14. [全文 PDF]

●**図書館グッズ**

- ・図書館サービス・ツール研究会編著『ライブラリー・グッズの調査・研究と企画・開発』(平成21年東京都図書館協会研究助成報告書),2010.2,33p.
- ・仁上幸治「グッズが図書館を元気にする!ー暗い状況でも楽しめる最強秘密兵器ー」(特集 ライブラリー・グッズ) [聞き手:鈴木正紀]『大学の図書館』426,28(5),2009.5, pp.70-75.
- ・仁上幸治;中島玲子;石川敬史「笑顔を生み出す‘魔法’の戦略ツールー図書館グッズの研究・開発・普及活動ー」『薬学図書館』55(2),2010.4, pp.94-101.

●**プレゼンテーション**

- ・石居進『理系のためのPowerPoint「超」入門ープレゼンテーションからホームページ作成まで』(ブルーバックスCD-ROM),講談社,2003,¥1,995
- ・ブルボン小林『ぐっとくる題名』中央公論新社,2006.9(中公新書)
- ・諏訪邦夫『発表の技法ー計画の立て方からパソコン利用法までー』講談社,1995(ブルーバックス B-1099),¥760.
- ・中川佳子『「情報を見せる」技術』光文社新書,2003.7

¥850.

- ・藤沢晃治『「分かりやすい表現」の技術ー意図を正しく伝えるための16のルールー』講談社,1999.3(ブルーバックス, B-1245)
- ・藤沢晃治『「分かりやすい説明」の技術ー最強のプレゼンテーション15のルールー』講談社,2002.10(ブルーバックス, B-1387)
- ・ポプ・ボイラン『プレゼンテーション成功の秘訣13』TBSブリタニカ,1993. ¥1300.
- ・藤沢晃治『「わかりやすい表現」の技術』講談社,1999. ¥800. (講談社ブルーバックス B-1245)
- ・藤沢晃治『図解「伝える」技術ルール10ー話して伝える,書いて伝える,図表で伝える』講談社,2006.10
- ・岩永嘉弘『一行力』草思社,2004.4

●**指導法**

- ・岡本浩一『上達の法則ー効率のよい努力を科学する』PHP研究所,2002.5(PHP新書)¥714
- ・多和田悟『犬と話をつけるには一駄目な犬の困った飼い主にならないために』文藝春秋,2006.6. (文春新書)
- ・中野民夫『ワークショップー新しい学びと創造の場ー』岩波書店,2003.04(岩波新書)
- ・畑村洋太郎『「失敗学」事件簿ーあの失敗から何を学ぶか』小学館,2006.4, ¥1300
- ・吉田新一郎『効果10倍の<教える>技術:授業から企業研修まで』PHP研究所,2006(PHP新書)

●**『情報の達人』の歴史**

- ・日本図書館協会利用者教育臨時委員会「人・時間・予算の壁を破る利用者教育の強カツール新登場」『図書館雑誌』1992.11, pp.798-799.
- ・日本図書館協会利用者教育臨時委員会「利用者教育ビデオシリーズへの熱い期待」『図書館雑誌』1993.8, 1993.8, pp.553-556.
- ・仁上幸治「情報リテラシー教育と新しい図書館員像ー『新・図書館の達人』から『図書館利用教育ガイドライン』まで」『館灯』41, 2003.3, p.39-52.
- ・仁上幸治「『図書館の達人』から『情報の達人』へー利用者教育映像教材の進化 15年の集大成」『図書館雑誌』101(4), 2007.4, pp.238-239.
- ・『情報の達人』ホームページ:  
<http://www.kinokuniya.co.jp> (左メニュー下方に入口)

●**図書館長の仕事**

- ・『ある図書館長の一曰:市町村立図書館経営の実際』紀伊國屋書店,1998:(27分):VHS(図書館の達人;司書実務編 pt.3;7).
- ・ちばおさむ『図書館長の仕事:「本のある広場」をつくった図書館長の実践記』日本図書館協会,2008(JLA図書館実践シリーズ;10).

■ **2. 参考サイト**

\*\*\*\*\*

[1] **広告**

- ・京都広告塾 編『巧告。:企画をヒットさせるために広告クリエイターたちが考えること』東京:インプレスジャパン,2007.8 <http://www.impressjapan.jp/books/2442.php>
- ・京都広告塾 編『効告。:企画をヒットさせるために広告クリエイターたちが考えること』東京:インプレスジャパン,2007.11 <http://www.impressjapan.jp/books/2483.php>
- ・京都広告塾 編『考告。:企画をヒットさせるために広告クリエイターたちが考えること』東京:インプレスジャパン,2007.10 <http://www.impressjapan.jp/books/2459.php>

[2] **広告アーカイブ**

- ・新聞広告データアーカイブ:  
<http://www.pressnet.or.jp/adarc/data/>
- ・動画NOW!! CM 企業 一覧:  
<http://www.doga-now.com/company/>
- ・宣伝会議:<http://www.sendenkaigi.com/>
- ・PRIOR:  
<http://www.sendenkaigi.com/hanbai/magazine/prir/>
- ・百式 POP\*POP 広告・マーケティング カテゴリー:  
<http://www.popxpop.com/archives/cat19/>

[3] **デザイン**

- ・服部デザイン研究所:「THE Know-How」レイアウト能力:

- [http://wwwweb.jp/hdi/data/pc/dtl\\_lyt.html](http://wwwweb.jp/hdi/data/pc/dtl_lyt.html)  
 ・増田デザイン事務所 Masuda Design Office:  
<http://www.ryuumu.co.jp/~mdo/index.html>  
 ・グラフィックデザイン:  
<http://www.ryuumu.co.jp/~mdo/graphic5.html>  
 ・MdN: <http://www.mdn.co.jp/content/view/6/18/> また  
 は <http://www.mdn.co.jp/content/category/38/27/55/>  
 ・グラフィックデザイン:  
<http://www.mdn.co.jp/content/blank/89/130/>

#### 【4】編集

- ・松岡正剛事務所 セイゴちゃんねる:  
<http://www.isis.ne.jp/seigowchannel/>  
 ・編集工学研究所: <http://www.eel.co.jp/>  
 ・イシス編集学校: <http://es.isis.ne.jp/>  
 ・松丸本舗: <http://www.matsumaru-hompo.jp/>  
 ・松岡正剛の千夜千冊: <http://1000ya.isis.ne.jp/>

#### 【5】CIとブランディング

- ・パオス: <http://www.paos.net/>  
 ・佐藤可士和: <http://kashiwasato.com/>

#### 【6】編集・広告の学校

- ・編集の学校／文章の学校: <http://www.editorschool.jp/>  
 ・～編集の現場から～ 文章上達のための練習問題:  
<http://www.raichosha.co.jp/mm/sentence.html>

- ・宣伝会議: <http://www.sendenkaigi.com/>  
 ・宣伝会議の教育講座:  
<http://www.sendenkaigi.com/kyoiku/>  
 ・京都広告塾: <http://www1.newweb.ne.jp/wa/academy/>

#### 【7】オフィスソフトを自習する

- Microsoft atLife  
<http://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/>  
 TIPS(使い方ガイド)  
<http://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/tips/>  
 Office(オフィス)の活用方法と Tips をご紹介  
<http://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/tips/archive/office/navi/office.aspx>  
 Word  
<http://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/tips/archive/office/navi/word.aspx>  
 Excel  
<http://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/tips/archive/office/navi/excel.aspx>  
 PowerPoint  
<http://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/tips/archive/office/navi/powerpoint.aspx>

#### 【8】プレゼンテーションの方法を学ぶ

- ・Presentation.jp(プレゼンテーション総合サイト):  
<http://www.presentation.jp/index.html>  
 ・資料作成:  
[http://www.presentation.jp/prjp/knowhow/siryou/trap\\_ppt.html](http://www.presentation.jp/prjp/knowhow/siryou/trap_ppt.html)  
 ・高橋メソッド: <http://www.rubycolor.org/takahashi/>

### ■ 3. 講師紹介 \*\*\*\*\*

仁上幸治 (にかみ・こうじ): 図書館サービス計画研究所 代表/元・帝京大学総合教育センター准教授/元・早稲田大学図書館司書/非常勤講師歴(法政大学・亜細亜大学・東京家政大学・桜美林大学) ◎電子メール: [nikamikoji@yahoo.co.jp](mailto:nikamikoji@yahoo.co.jp)  
 講演生涯合計 160 本(2013 年 8 月末時点)

◎ホームページ: <http://sites.google.com/site/nikamik23/>

◎図書館サービス計画研究所(略称トサケン): <https://sites.google.com/site/tosaken23/>

#### ◎教材開発

- ・ライブラリービデオシリーズ『情報の達人』全3巻(DVD), 紀伊國屋書店,2007.2.

#### ◎著書

- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ガイドライン—図書館における情報リテラシー支援サービスのために(合冊版)』日本図書館協会,2001.8, 81p: ¥1500  
 ・私立大学図書館協会東地区部会研究部企画広報研究分科会『図書館広報実践ハンドブック—広報戦略の全面展開をめざして—』日本図書館協会発売,2002.9 303p, ¥2381  
 ・戸田光昭[他]共著『改訂 専門資料論』樹村房,2002.10(新図書館学シリーズ第8巻),¥1900  
 ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)』日本図書館協会,2003.3  
 ・三浦逸雄, 野末俊比古(共編著)『専門資料論』新訂版, 日本図書館協会, 2010.3(菅野育子, 高橋昇, 仁上幸治共著)(JLA図書館情報学テキストシリーズ, II-8)  
 ・大学導入教育研究会編『よくわかるライフデザイン入門—大学生のための必須学習術—』第二版, 古今書院, 2011.2.10. 120p.¥1900.  
 ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『情報リテラシー教育の実践—すべての図書館で利用教育を—』(JLA 図書館実践シリーズ; 14) 日本図書館協会, 2010.3  
 ・仁上幸治『図書館員のための PR 実践講座—味方づくり戦略入門—』樹村房(2014 年 10 月 30 日刊行)★初単著

#### ◎最近の論文 \*多くは著者ホームページで全文公開

- ・「研究文献レビュー」[「図書館の「広報」は進化しているか?—説明責任と自己アピールの時代に求められる理論と実践—]『カレントアウェアネス』No.305, 2010.9, pp.16-24  
 [CA1728] HTML 版: <http://current.ndl.go.jp/ca1728>  
 ・「情報リテラシー底上げ奮戦記—自習時間ほぼゼロ学生のための論文・プレゼン指導—」『帝京大学総合教育センター論集』(2), 2011.3, pp.83-105.  
 ・「図書館の魅力は細部に宿る—「ちよつとした工夫」を超えるブランド戦略—」『ほすびたる らいぶらりあん』36(1), 2011.3, pp.8-14.  
 ・「図書館利用教育における「指導サービス」概念の形成—日本版ガイドラインの作成過程を中心に—」『日本図書館情報学会春季研究集会発表要綱』(2011.5.14), pp.91-94.  
 ・「これからの「PR」の話をしよう—いまを生き延びるための図書館経営学—」『病院図書館』30(3), 2011.5, pp.124-132. (特集「図書館の PR」)  
 ・「マルチメディアのフル活用による双方向授業の試み—スライドショー,映像教材,ファイル配布・提出,アンケートの各システムを使い切る—」『帝京大学情報処理センター年報』(13), 2011.3.31, pp.77-91.(実刊行日:2011.7.25)  
 ・「図書館利用教育における「指導サービス」概念の射程—情報リテラシー教育という枠組みの可能性と限界—」『日本図書館情報学会秋季研究集会発表要綱』(2011.11.12), pp.53-56.

- ・「学校図書館のブランディング戦略ー評価されるためにギリギリまで工夫を！ー」『学図研ニュース』No.326, 2013.4.1, pp.2-6.
- ・「図書館長のための自分ブランディング講座ー内外に味方を増やすキャラクターの作り方ー」全国公共図書館協議会研究集会講演録(2013.06.28-東京都立中央図書館)
- ・「情報リテラシー教育を担う小中学校教員をいかに養成するかー教職志望学生の徹底改造を目指す司書教諭科目からの提言ー」『帝京大学総合教育センター論集』(5), 2013, 2014.3, pp.69-93.
- ・「忙しい図書館員のためのPC使い倒し「超」実用講座ー省力効果絶大な便利技をマスターしよう！ー」『短期大学図書館研究』33, 2014.3, pp.107-122.(CD-ROM版あり)(2013.08.23-24-九州地区私立短期大学図書館協議会研修会/精華女子短期大学)
- ・「情報メディアは作ってみればわかるーメディアリテラシー指導のプロ教師を育てる授業の工夫ー」『帝京大学情報処理センター年報』(16), 2013, 2014.3.31(7.26刊行), pp.95-109.
- ・「驚くほど学生が集まる図書館演出術ー少人数職場だからこそ今すぐできる即効アイデアー」『私立大学図書館協会中国・四国地区研究会報告書』第44回(2014年), pp.4-78.
- ・「指導場面での演出力はこれでいいかー教える側の情報リテラシーを問い直すー」『館灯』53号, 47-65, 2015-03-31

◎最近の講演(2014- )

- ・2014.07.30-神奈川県教育委員会学校図書館ブランディング論研修講座「学校司書のためのブランディング入門ーイメージ革新のための劇的ビフォーアフター」神奈川県立神奈川総合高等学校 多目的ホール(神奈川県横浜市)
- ・2014.08.13-MULU5周年記念定例茶話会第50回「24時間茶話会 MULU は地球(みちのく)を救う！ー今日日はまるごと図書館三昧ー」講演「お疲れライブラリアン講座 即効！元気回復！PR・ブランディング・広報のソゴ技を一挙に紹介します！」東北大学川内キャンパス
- ・2014.09.04-05-私立大学図書館協会 中国四国地区協議会研究会「驚くほど学生が集まる図書館演出術ー少人数職場だからこそ今すぐできる即効アイデアー」山陽学園大学図書館(岡山市)
- ・2014.09.11-12-私立大学図書館協会 東海地区協議会実務担当者研修会「指導場面での演出力はこれでいいかー教える側の情報リテラシーを問い直すー」名古屋学院大学名古屋キャンパス白鳥学舎(名古屋市)
- ・2014.10.10-千葉県「課題解決支援サービス研修会」千葉県立西部図書館
- ・2014.11.01-全国図書館大会 図書館利用教育分科会「図書館利用教育の実践力の今ー委員会創設25周年、次に向けての展望を開く」基調講演「図書館利用教育はどこまで進化したか」明治大学駿河台キャンパス(東京)
- ・2014.11.05-図書館総合展フォーラム: 図書館サービス計画研究所(略称図サ研)主催: 今日から使える図書館ブランディングセミナー(4)「味方づくり戦略入門」基調講演: 11月5日(水)13:00~14:30 パシフィコ横浜フォーラム第7会場
- ・2014.11.18-沖縄県図書館協会研修会講演「図書館ブランディング入門」沖縄県立図書館(沖縄県那覇市)
- ・2014.12.07-『図書館員のためのPR実践講座』(樹村房)出版記念会「ニカミズム ARISEー愛と怒りの極私的自著伝ー」東京理科大学 葛飾新キャンパス 図書館
- ・2014.12.10-文部科学省主催東海・北陸地区図書館地区別研修: 講義と演習「図書館をPRする」石川県立図書館(石川県金沢市)

- ・2014.12.18-私大図協企画広報研究分科会月例会 講演(2)「図書館にこない学生をいかに図書館に呼び込むか？」明治大学中央図書館
- ・2015.02.01-『図書館員のためのPR実践講座』出版記念会 2 in 大阪「ニカミズム ARISEー愛と怒りの極私的自著伝ー」レストラン プラザ・フォーティーン(大阪歯科大学附属病院 14階)
- ・2015.02.09-「さんぶの森図書館見学ツアー」講演「ニカミズム ARISE」『図書館員のためのPR実践講座』出版記念会 3 in 千葉 千葉県山武市
- ・2015.02.28-紀伊國屋書店 スタッフ研修「一步が踏み出せない図書館員のための味方づくり戦略入門講座」紀伊國屋書店本社(東京都目黒区)
- ・2015.03.03-『図書館員のためのPR実践講座』出版記念会 4 in 東京(2)帝京大学図書館課程履修生懇親会「ニカミズム ARISEー愛と怒りの極私的自著伝ー」図書館サービス計画研究所(東京都新宿区)
- ・2015.03.17-新宿区立中央図書館 館員研修「パスファインダー超簡単講座ー基礎を学び、必要なラインナップを考えるー」新宿区立中央図書館 大会議室(東京都新宿区)
- ・2015.06.09-KLL(関西ライブラリアンリンク)企画【仁上幸治さんと語る交流会「映像の中のトンデモ図書館員たちー図書館ブランディング講座番外編ー」『図書館員のためのPR実践講座』増刷記念講演会+交流会 Biz Library (ビズライブラリー)(大阪駅前)
- ・2015.06.10-トショカン・ヨコの会の定例会『図書館員のためのPR実践講座』出版記念会 5 in 岡山「ニカミズム ARISEー愛と怒りの極私的自著伝ー」図書館ヨコの会(岡山県岡山市)
- ・2015.06.12-長崎県大学図書館協議会研修会『図書館員のためのPR実践講座』出版記念会 6 in 長崎「図書館員のためのPR実践講座ー味方づくり戦略入門ー」長崎大学附属図書館(長崎県長崎市)
- ・2015.06.13-14-大学図書館問題研究会 福岡支部 特別企画(3)「潜在ユーザー発掘大作戦は終わらない！！ーハードコア・ノンユーザーのつかんだ心を離さない図書館ブランディングー」(1日目)熊本大学附属図書館中央館・(2日目)くまもと県民交流館パレア(熊本県熊本市)
- ・2015.06.13B-『図書館員のためのPR実践講座』出版記念会 7 in 熊本「ニカミズム ARISEー愛と怒りの極私的自著伝ー」BUNZO(熊本県熊本市)
- ・2015.06.17-TRC スタッフ研修 1 「「打って出る広報」が図書館を救う！ージリ貧状況を打開する関係再構築の方法ー」TRC本社(東京都文京区)
- ・2015.07.10-世田谷区立中央図書館職員研修「図書館員のためのPR実践講座ージリ貧状況を打開する地域ぐるみの関係再構築に向けて」(その1「サイン計画を見直す」)世田谷区立中央図書館(東京都世田谷区)
- ・2015.07.25-日赤図書室協議会研修会「ひとり職場の有利さを活かす: 決断と実行は自分したい」日赤会館(東京都港区)
- ・2015.07.29-神奈川県学校図書館経営論研修講座「学校司書のためのブランディング講座(発展・実践編)ー専門職サバイバルのための地域連携作戦の立案と実行ー」神奈川県立神奈川総合産業高等学校 視聴覚室(神奈川県相模原市)
- 15) 2015.08.07-北海道地区大学図書館職員研究集会「生き残りたい図書館員は味方を増やすー情報リテラシー教育への直接貢献を核とするブランディング戦略ー」小樽商科大学(北海道小樽市)
- 16) 2015.08.08-私立短期大学図書館協会北海道地区協議会研修会「図書館をPRするー双方向性コミュニケーション



の関係づくり実践法～」北海道武蔵女子短期大学(札幌市)  
17) 2015.08.08-『図書館員のための PR 実践講座』出版記念会 8 in 札幌 & 情報交換会 北海道武蔵女子短期大学(札幌市)

18) 2015.08.19-世田谷区立図書館館長研修「「らしさ」を訴求するPR-図書館を核とする地域ぐるみの区民関係再構築-」世田谷区立中央図書館(東京都世田谷区)

19) 2015.08.24-福岡県立図書館青少年読書推進講座「子どもたちの居場所になる図書館をつくる～どう図書館を PR していくか～」福岡県立図書館(福岡県福岡市)

20) 2015.08.26-西日本図書館学会長崎県支部研修会「図書館ブランディング入門講座」長崎市立図書館 新興善ホール 洋会議室

★生涯合計 189 本

#### ◎講演予定

21) 2015.09.04-私立大学図書館協会西地区部会阪神地区協議会研究会「今、あらためて大学図書館職員の働き甲斐を問う」梅花女子大学図書館(大阪府)

22) 2015.10.02-長野県立高校学校司書研修会 長野県県庁講堂(長野県長野市)

23) 2015.10.03-長野県図書館協会大学専門図書館部会図書館研究会 研修会(調整中)

24) 2015.11.02-九州女子大学授業ゲスト講演(北九州市)(調整中)

25) 2015.11.03-大学図書館問題研究会 福岡支部「プチマイブランディング披露!+ 交流会」[仮](博多)(調整中)

26) 2015.11.09-静岡県図書館大会 「図書館サービス」分科会「図書館の魅力を上手に伝える-PR(パブリックリレーションズ)による味方づくり戦略入門-」静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」(静岡県静岡市)

27) 2015.11.10-図書館総合展フォーラム 日経 BP

28) 2015.11.12-図書館総合展フォーラム 図書館パートナーズ

29) 2015.11.20-TRC スタッフ研修 2「「打って出る広報」が図書館を救う! - 3G 状況を打開する関係再構築の方法 -」TRC本社(東京都文京区)

30) 2015.11.26-文部科学省 図書館地区別研修(北日本地区)「図書館ブランディング」(仮題)札幌市中央図書館(北海道札幌市)

31) 2015.11.27-北海道大学図書館職員研修(北大)

#### 2016 年

1) 2016.01.21-文部科学省 図書館地区別研修(近畿地区)「図書館のブランディング戦略-図書館の存在感を引き出すには-」(仮題)兵庫県立図書館 (兵庫県明石市)

以上(配付資料/2014.9.1 作成) ■□■